

事業番号	04 07 01	事業改善シート (30年度実施事業分)	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	子どもの貧困の連鎖を断ち切るための対策事業		部局	県民文化部	課・室	こども・家庭課
			実施期間	～	E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン)			※計画策定中のため変更があります			
政策推進の基本方針	学びの県づくり 誰にでも居場所と出番がある県づくり					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	子どもの貧困による主要な課題として、「家庭の養育環境が十分でない」「多様な教育資源が選択できない」「要支援家庭の孤立」が挙げられ、家計と子育てを一人で担うひとり親家庭等への家庭機能を補完する取組、給付型奨学金等による教育費負担の軽減、子どもと家庭を支援する居場所づくりや相談体制の強化等が必要である。	30年度要求額	194,792 千円
目指す姿	子どもの居場所づくりの更なる推進、ひとり親家庭等への相談体制強化等により、子どもや家庭が困難に直面したとき、孤立することなく早期に包括的な相談・支援が受けられる体制整備づくりを進めるとともに、給付型奨学金等の教育費負担軽減により、子ども・若者が育つ環境にかかわらず、自らの未来を切り拓ける長野県を目指す。 (主な実施内容:官民協働の子どもの居場所づくり推進事業、こどもの未来支援事業、ひとり親家庭就業・自立支援事業など)	職員数	6.50 人

区分(単位:千円)	28年度	29年度	30要求	30予算案	指標及びその達成状況					
					No	成果指標	28年度末	29年度末(見込)	30年度	
事業額										
事業額	前年度繰越	10,177								
	当初予算	179,043	127,032	194,792						
	補正予算	412								
	合計(A)	189,632	127,032	194,792	0					
Aの財源	一般財源	23,304	27,843	35,551						
	県債									
	国庫支出金	100,965	29,184	37,384						
	その他	65,363	70,005	121,857	0					
決算額(B)										
概算人件費	職員数(人)	1.70	6.60	6.50						
	概算人件費(C)	13,454	52,232	51,441	0					
概算事業費(B(A)+C)	13,454	179,264	246,233	0						
成果指標設定理由	①② 子どもの居場所づくり推進の状況を評価する指標として適しているため ③ ひとり親家庭への就労支援の状況を評価する指標として適しているため ④ 奨学金給付実績を評価する指標として適しているため									

成果指標設定理由	①② 子どもの居場所づくり推進の状況を評価する指標として適しているため ③ ひとり親家庭への就労支援の状況を評価する指標として適しているため ④ 奨学金給付実績を評価する指標として適しているため
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

指摘事項等への対応	指摘事項	対応									
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 県民協働による事業改善	点検結果 <table border="1"> <tr> <td>①改善の必要あり</td> <td>10人</td> <td>(強化・拡大:5、現状維持:3、合理化・縮小:2)</td> </tr> <tr> <td>②現行どおり</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③移管・廃止</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> </table> 主な意見 ・他の関連事業と重複する部分の見直しが必要。信州こどもカフェとしてのあり方をもう一度設計しなおした方が良い。	①改善の必要あり	10人	(強化・拡大:5、現状維持:3、合理化・縮小:2)	②現行どおり	1人		③移管・廃止	0人		・信州こどもカフェの普及拡大を図るには担い手となる人材の育成が必要。 ・平成29年度に構築する地域プラットフォームをベースに、こどもカフェ運営の担い手となる地域の人材の発掘・育成のための予算を要求。
①改善の必要あり	10人	(強化・拡大:5、現状維持:3、合理化・縮小:2)									
②現行どおり	1人										
③移管・廃止	0人										

予算要求からの主な変更点	
--------------	--

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	政策推進の基本方針	細事業名	30年度 実施内容(予定)	職員数(人)	29年度(当初)	30年度	
						(要求)	(予算案)
1	居場所	官民協働の子どもの居場所づくり推進事業	・一場所多役の子どもの居場所「信州こどもカフェ」の普及拡大を推進するため、運営の担い手となるコーディネーターや各機能ボランティア等の育成・発掘のための研修会等を開催 ・市町村の実施する子どもの居場所づくりに要する経費の一部を補助	5.00	8,677	10,710	
2	学び	こどもの未来支援事業 ※こどもの未来支援基金事業(H29)から改称	家庭環境に左右されず、全ての子どもに学びの機会が保障されるよう、次の事業を実施 ・経済的な困難を抱える県内大学生や児童養護施設退所者等に対する給付型奨学金 ・児童養護施設が実施する入所児童の自然科学体験充実のための費用の助成 ・「こどもの未来支援基金」「ルートイングループ等積立金」への積立	1.00	69,913	129,415	
3	居場所	ひとり親家庭福祉推進事業	ひとり親家庭の福祉増進のため、ひとり親家庭への日常生活支援や養育費相談等を実施	0.30	8,044	7,302	
4	居場所	ひとり親家庭就業・自立支援事業	ひとり親家庭の自立を促進するため、資格取得や就学相談等の支援を実施	0.20	40,059	47,365	
5	-	ひとり親家庭移住・定住支援事業	-	-	339	-	
合計				6.50	127,032	194,792	0

※「2 事業を構成する細事業の内容」の「施策推進の基本方針」の略称については次のとおりです。
 学び…学びの県づくり 産業…産業の生産性が高い県づくり 快適…人をひきつける快適な県づくり いのち…いのちを守り育む県づくり
 居場所・出番…誰にでも居場所と出番がある県づくり 自治…自治の力みなぎる県づくり